

山彦ボーイ⑨

- (1) 「やい、ここへきてよけいなことを調べることはなきぞ。大八の人殺しはもう決まつているのだ」と、ふたりの男は中村刑事につめよりました。「調べるのはボクの勝手だよ」「何一ツ」
- (2) 「こいつめー」ひとりがいきなり中村刑事に打つてかかりましたが、中村刑事は柔道五段ですから「何をする、調べる邪魔をするか」
- (3) 「えーい」ドンデーン「あーッ」みごとになげとばしましたから、ふたりの男はおどろいて「ちくしょう、おぼえていろー」とにげて行つてしましました。中村刑事は見送つて「ふーん、あいつらは何か知つてゐるぞ。よし、徹底的に調べてやる」
- (4) 「ではじいさん、いろいろ聞くが話してくれるかい」「へい、大八は乱暴でもいいやつだから何でも話しますよ」「それでは」と、中村刑事は小づかいのじいさんの話を携帯テープに録音しました。
- (5) 「ではじいさん、いろいろ聞くが話してくれるかい」「へい、大八は乱暴でもいいやつだから何でも話しますよ」「それでは」と、中村刑事は小づかいのじいさんの話を携帯テープに録音しました。
- (6) ふたりの男は「なア源の字、あの刑事は何をほじくり出しにきたのかな。とにかく生かしてかえしてはオレたちがあぶないぞ」「ウム、こうなつたらやつつけるか」と相談をしています。
- (7) こちらは山奥へ逃げ込んできた山彦ボーイと大八です。「あ…ここは清々しくていいな」と山彦ボーイは喜んでいますが、大八の方は
- (8) 「オレはハラがへつてしまふがいい。米のオマンマをたべさせてくれよ「そんなもの山の中にはないよ」「テヘ、たのむ、飯場へ行けばあるから、小づかいのじいさんにもらつてきてくれ。きつとくれるよ」「そうかい」
- (9) 「それでは、ちよいと行つてもらつてきてやろう」ゴハンがたべたいという大八のねがいをかなえてやろうと、山彦ボーイは山道を走つてここまでくると、
- (10) 「ウオー」「あックマだ」一匹の大きなクマと出会いました「ウオー」とクマは山彦ボーイにせまつてきます。果して：